

2020年 3月 27日(金) 【 中日 】新聞【 18(三巻)】面

見出し | 19年度の県民防災意識「薄れつつあり、増加

記事の要約(事実) いつ・どこで・だれが・何をしたか/いつ・どこで・何が・あったか

三重県の県民 2,535人(対象 5,000人,回答率 50.7%)にたいして、2019年度の防災意識について、調査して結果がまとめられた。

東日本大震災をきっかけに、83%(2,103人)が意識が高まっていると回答しているが、「時間の経過とともに薄れつつあり、近年頻発する地震により再び高まっている」と選んだのは、この内 34.5%(875人)と最多ではあるが、前回調査より 9.8ポイント下がった。一方、水害に対する新しい警戒レベル情報は 80%以上が知っているなど、新しい側面も見られる。詳細は県のHPでも公開されており、県は今後の「地域の防災力向上のための普及啓発に努めていく」としている。

あなたの意見(主張) なぜ起こった・何のために行われた・どうしたら解決するetc. →と考えるか。

反対の事例・同じような事例・市(県or国)内外の事例etc.と比較してどうか。

地震に限らず、災害に対する意識は、発生時に高まり、時間の経過によって薄れていくことは、以前から各視点において指摘されてきたが、近年、市、地域単位など、小さな集団における地域防災の取り組みが重要視されるようになってきた。これらの取り組みは、やはり「顔の見える」取り組みで、防災意識の維持には、大切だ。つまり、これらの活動とバリエーションを意味し、又、調査によって、気づきを得るきっかけとなり、現状の課題や取り組みの結果を確認することで、今後も継続して調査の望まれる。

● 読みや意味が分からなかった漢字/単語 ●

・南海トラフ地震臨時情報

①南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうかの調査を開始した場合、中には調査を継続している場合

②観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

○今日の一面TOPNEWSの見出し

○きょうのわたしのちょこっとメモ

TOP 首都圏 外出自粛 7月 大

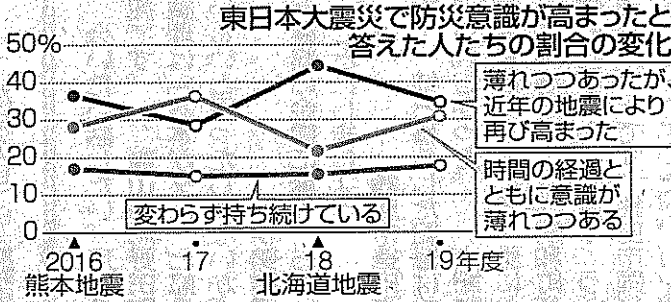
あ、どう向は4日か<30



19年度の県民防災意識



「薄れつつある」増加



「その年の地震発生状況に左右」

県は、二〇一九年度の防災に関する県民意識調査の結果をまとめた。発生から九年の東日本大震災を機に、いったん危機意識が高まったと答えた人が八割を占めたものの、その後に意識が薄れるなど経年変化が大きく表れる結果に。県内でも南海トラフ地震による甚大な被害が想定される中、防災意識を保つ難しさが浮かび上がる。

(齋藤雄介)

県民五千人を対象にした郵送のアンケートで、二千五百三十五人が回答した。回答率は50・7％。地震への防災意識を尋ねる質問では、震災後に意識が高まったと答えた二千三百三人(83・0％)のうち、「時間の経過とともに薄れつつあったが、近年頻発する地震により再び高まった」を選んだのは八百七十五人と最多で、全体の34・5％。ただ、一八年度の前回調査からは9・8ポイント下がった。

一方で「薄れつつある」と答えた人は全体の30・7％の七百七十九人と、9・1ポイント増えた。前回調査した一八年度は大阪北部地震や北海道地震が起き、県の担当者「その年の地震の発生状況で左右される傾向がある」と話す。「震災で持った危機意識を持ち続けている」との回答は17・7％の四百四十九人で微増だった。

政府は昨年五月、想定震源域で地震の予兆を観測した際に気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表し、注意を促すよう制度を変更。調査では、この臨時情報についての質問も新設したが、66・9％の千六百九十六人が具体的な内容を知らなかった。

地震に関する制度変更の認知度が低調だった一方、水害に関して新たに導入された五段階の「警戒レベル情報」は80％近くが知っているとの回答。昨年、列島に大きな被害をもたらした台風19号の記憶が新しいことが要因とみられるという。

県は、調査結果を年代や地域別などで分析した報告書をホームページ上で公開している。県防災企画・地域支援課は「地域の防災力向上のための普及啓発につなげたい」としている。



仲よし (I)
中部二元会 古田桂子
(四日市市北浜田町)

三重総局 (〒514-0005)
津市鳥居町2-2-7-2
059(228)2121~4
FAX 059(225)6213

四日市支局 059(352)3108
FAX 059(353)7239

伊勢支局 0596(23)3511
FAX 0596(23)3521

松阪支局 0598(21)6148
FAX 0598(26)2207

伊賀支局 0595(21)3241
FAX 0595(24)4310

尾鷲支局 0597(22)0192
FAX 0597(23)0771

鈴鹿通信局 059(382)0314
FAX 059(382)3909

桑名通信局 0594(22)0235
FAX 0594(23)6771

鳥羽通信局 0599(25)2063
FAX 0599(25)2090

熊野通信局 0597(85)2263
FAX 0597(89)4801

名張通信部 0595(63)0541
FAX 0595(64)0146

志摩通信部 0599(43)0154
FAX 0599(44)0028

紀伊長島通信部 0597(47)0724
FAX 0597(47)1487

新宮支局 0735(21)3737
FAX 0735(21)3738

ニュースは上の電話へ

読者センター
052(221)0800

広告のお申し込みは
広告局三重アドセンターへ
津 059(221)2530

